

活動組織名	洞戸中央農地保全管理組合		
○付け	活動内容（※該当する項目すべてに○をつけてください）		
	農地維持活動		
	資源向上活動（共同）		
○	農村環境 向上活動	啓発・普及（地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など）	
		生態系保全（生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など）	
		水質保全（水質モニタリングの実施・記録管理 など）	
		景観形成・生活環境保全（景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など）	
		水田貯留機能増進・地下水かん養（水田の貯留機能向上活動 など）	
	資源循環（地域資源の活用・資源循環のための活動）		
○	多面的機能の増進を図る活動	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	
	資源向上活動（長寿命化）		
活動(行事)名	田んぼの学校（農業体験）		
実施場所	関市洞戸市場字紋原島ほ場内 洞戸小学校学習田		
実施日	今年度は、コロナ禍により田植えは中止でしたが稲刈りは実施。		
参加者	洞戸小学校児童	27名	その他個人(農業者) 4名
		名	その他個人(非農業者) 3名
〔活動の内容〕			
<p>洞戸小学校5～6年生の児童27名が、洞戸小学校、長寿会の協力を得て、啓発・普及として学校教育との連携活動で、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、田植え、収穫祭は中止されましたが、稲刈りの農業体験を行いました。秋の稲刈りでは、多面的機能の推進を図る活動の農村文化の伝承を通じたコミュニティの強化として、稲を手刈りでを行い、刈り取った稲束の束ね方を教えていただき、伝統的な農法技術を学びました。</p>			
〔参加者の感想など〕			
<p>参加した児童は、稲刈り鎌を初めて使う子もあり、怖かったこと、うまく切れなかったこと、稲の束ね方を教えてもらったこと、米づくりがいかにかたいへんだと思ったこと、この米づくりを通じて長寿会の皆さんや参加した仲間と一層、仲が深まったとの感想も聞かれました。長寿会の皆さんは、農作業の機械化で子供が手伝うことがほとんどなくなってしまった現在、昔を思い出し、手刈りで刈り、稲を束ねる事も自分の孫のように教えることができうれしかったこと、いつまでも元気な限り参加したいという声がありました。</p>			
			
			